

「いやいや」は自立の時

つき 2022.10月

この頃のつき組の子どもの様子から「いやいや」には大体、2種類があるようです。

- ① 自分でやりたい ② いつもと違う

自分でやりたい

近頃、つき組でよく見られる姿は、
〈パンツは出すが、履きたがらない〉です。

- パンツを幾枚も出している
 - 大人がパンツを履かせようとする時「いや」と言って離れていく。
- これは、ふざけて遊んでいるのでも、履きたくないのでもなく、実は自分で履きたいなあ、と思っているのです！

こんな時は…

- ①「あら、パンツがいっぱいですけど
〇〇ちゃんは、どれがいいの？」と
パンツを選んでもらいます。
 - ②「残りは戻そうね」
引き出しに戻してもらい
 - ③子どもが着替えマットに腰かけたら
「履こうね、どうぞ」
- ここからは、その子のやりたいこととできること、できないことを見極めて、見守ったり、さりげなく手を添えたりして目立たない援助をします。

「小さいから」「かわいいから」つついついてあげなくなっちゃう、そんなかわいらしい時期ですが、子どもは「自分でしたい」からこそ、大人から言われた反対の行動や「イヤイヤ」で表しています。「自立」が始まっているのです。自立へのスタートラインに立たせてあげましょう。



いつもと違う

①場所が違う

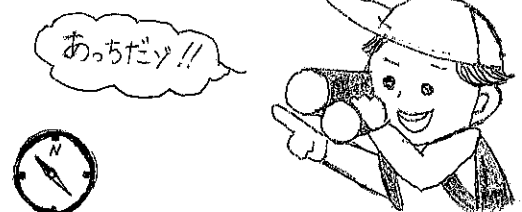
先日、キッチンカウンターを指さして大変怒っている子がいました。指さす方を見ると虫よけスプレーが置いてありました。「ごめんなさいね、場所が違ったのね」といつもの引き出しの上に置くとうなずいて納得してくれました。「あーもう、びっくりしたじゃないか」そんな様子でした。

②順番が違う

夏に食後のシャワーをしていた頃。シャワーに慣れて泣かなくなっていた子がうわーっと泣き出しました。普段は、手から洗って貰っていたのに、その日は顔から洗われたのです。

小さな子どもは、地球に生まれ出た環境の冒険者です。場所や順番をコンパスのように頼りにして自分でやろうとしています。

前向きに自分でできる自信を持った人格になるには、今の時期はできるだけ、場所と順番を守ってあげましょう。



いつもとどうしても変わる時は…

前もって予定を話したり見せたりしておきましょう。多少嫌がるかもしれませんが、言われぬより良いのは大人も同じですね。

「いやいや」は自立の時

つき 2022.10月

この頃のつき組の子どもの様子から「いやいや」には大体、2種類があるようです。

- ① 自分でやりたい ② いつもと違う

自分でやりたい

近頃、つき組でよく見られる姿は、
〈パンツは出すが、履きたがらない〉です。

- パンツを幾枚も出している
 - 大人がパンツを履かせようとする時「いや」と言って離れていく。
- これは、ふざけて遊んでいるのでも、履きたくないのでもなく、実は自分で履きたいなあ、と思っているのです！

こんな時は…

- ①「あら、パンツがいっぱいですけど
〇〇ちゃんは、どれがいいの？」と
パンツを選んでもらいます。
 - ②「残りは戻そうね」
引き出しに戻してもらい
 - ③子どもが着替えマットに腰かけたら
「履こうね、どうぞ」
- ここからは、その子のやりたいこととできること、できないことを見極めて、見守ったり、さりげなく手を添えたりして目立たない援助をします。

「小さいから」「かわいいから」つついついてあげなくなっちゃう、そんなかわいらしい時期ですが、子どもは「自分でしたい」からこそ、大人から言われた反対の行動や「イヤイヤ」で表しています。「自立」が始まっているのです。自立へのスタートラインに立たせてあげましょう。



いつもと違う

①場所が違う

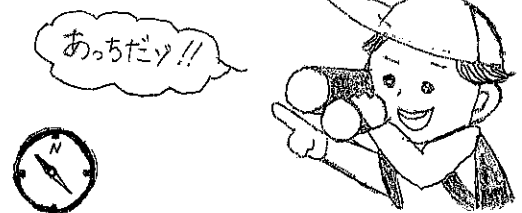
先日、キッチンカウンターを指さして大変怒っている子がいました。指さす方を見ると虫よけスプレーが置いてありました。「ごめんなさいね、場所が違ったのね」といつもの引き出しの上に置くとうなずいて納得してくれました。「あーもう、びっくりしたじゃないか」そんな様子でした。

②順番が違う

夏に食後のシャワーをしていた頃。シャワーに慣れて泣かなくなっていた子がうわーっと泣き出しました。普段は、手から洗って貰っていたのに、その日は顔から洗われたのです。

小さな子どもは、地球に生まれ出た環境の冒険者です。場所や順番をコンパスのように頼りにして自分でやろうとしています。

前向きに自分でできる自信を持った人格になるには、今の時期はできるだけ、場所と順番を守ってあげましょう。



いつもとどうしても変わる時は…

前もって予定を話したり見せたりしておきましょう。多少嫌がるかもしれませんが、言われぬより良いのは大人も同じですね。